

国際理解教室（2024.12.9） ～茨木市立天王小学校～

国際理解教室が12月9日に天王小学校で行われました。参加した学習者はフランスのJさん、中国のCさん、ベトナムのKさん、韓国のSさん4人です。支援者の4人も来ていただきました。小学校4年生140人を2クラスずつに分けて、2回同じプレゼンをしました。

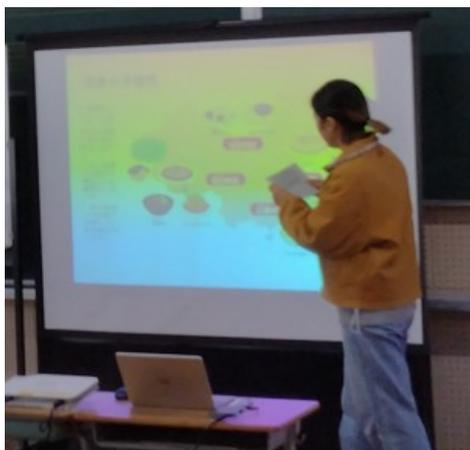
フランスのJさんは主にクリスマスについて話してくれました。ブッシュドノエルを食べたり、子供も大人もたくさんプレゼントをもらうとか、アドベントカレンダーのチョコを毎日食べると聞いて、「わ～いいなあ」と歓声があがりました。



あとはフランスと日本の学校の違いについて話してくれました。

学校へは親と行く、制服がない、塾には行かない、小学校は5年間、中学校は4年間の違いにも驚いていました。遊びは鬼ごっこの鬼が狼だったり、石けりやポケモン人気があると聞いて盛り上がりました。

有名な建物、凱旋門、エッフェル塔は「知ってる～」と叫んでいました。



中国のCさんは、主に食事についてそれぞれの地域の代表的な食べ物について話してくれました。北京、四川、広東、上海料理の違いがあることがわかりました。

餃子は焼き餃子ではなく、水餃子を食べる、餃子の形は昔のお金に似ているので福を招くと聞いて感心していました。饅頭にはあんこがはいっていないことにびっくりしていました。

中国語で、「餃子おいしい」は「ジャオ ハウ ツー」、「私はタンフルが好き」は「ワオ シー タンフル」と何度もリピートしていました。タンフルという甘いお菓子が人気です。

中国でもポケモンは人気があります。

ベトナムのKさんは、ベトナム語で「シンチャオ」（こんにちは）とあいさつすると、元気よく返事を返していました。

国旗の紹介をしたり、自転車が多いことにびっくりしていました。有名な観光地ホアンキエム湖の紹介をすると、知ってる子供もいました。

食べ物はフォー、ブンチャー、バインミー、春巻きなどを食べます。

ベトナムの正月はテトと呼ばれ、獅子舞やお年玉や書初めもあり、日本に似ていました。バインチュンを食べるそうです。



韓国のSさんは食事のマナーについて日本との違いを実演してくれました。食器は置いて持ち上げない、おかずはお箸を使い、スープとご飯はスプーンを使うなどです。キムチは250種類もあり、辛いものと辛くないものもあります。

韓国の衣装の写真を見せて、男性と女性の座り方を実演して教えてくれました。男性はあぐらで女性は片膝を立てて手を添えます。それがきれいな座り方だそうです。

その後、それぞれ教室に行き、子供たちと給食を食べました。たくさん質問されたそうです。学習者の方たちは緊張したけれど、楽しい経験ができたようです。子供たちも貴重な経験になったことでしょう。